

令和7年6月1日 発行
(株) ニーノコーポレーション
扶桑町大字芥藤字緑223
(0587) 93-7833

『お花見』

はなえくぼ江南の今年のお花見はフラワーパークに出かけました。桜はもちろんのこと様々な春のお花が楽しめるうえ、テーブルや椅子まであるので落ち着いてお弁当を食べながら景色を楽しむことができました。ちょっと風がりましたがポカポカ陽気の中、ゆったりとした時間を過ごすことができました。ソフトクリームのお店が土日しか営業しておらず、当日は平日でしたので食べるできませんでした。ポカポカ陽気だっただけに少し残念でした。桜の花の下で記念撮影をしました。



『今月もいろいろ食べました』

たこ焼きをみんなでチクチクコロコロ焼いてみました。やったことないと言いながらも、上手にチクチクコロコロさせていました。次回は竹串ではなくちゃんとしたやつを準備しますね。

チャーハンも作ってみました。ホットプレートで焼いたので、気分は鉄板で焼く“焼きめし”です。まず卵を潰して、その上にご飯をのせて…気分は職人です。カチカチ鳴らせるヘラが欲しい気分です。

バケツプリンをつくってトッピングをしてこどもの日を楽しみました。

みんなで作業をするのは楽しい時間ですね。



『ある日のこと』

両手に荷物を持ち歩いている利用者さんを見つけた職員が「気を付けて運んでね」と声を掛けていました。よくある場面だと思います。ところがそれを聞いた利用者さんは「あんたぼけっと見てないで手伝いなさいよ！！」と怒り出しました。確かに自分の奥さんが両手に荷物を持って歩いていたら気を付けてなんて言わずに手伝ってあげるよなあと思いました。でも介護の現場では、自立を目標にしているので職員からは積極的に作業を手伝ったりはせず、まずは様子を観察し必要なだけお手伝いをするを是とします。利用者さんの怒るのももっともだし、介護現場での利用者さんと職員の関係性って何だか複雑だなと考えてしまいました。

『気持ちに寄り添う対応を』

認知症ケアにおける対人関係は非常に重要になります。認知症の人は記憶や判断力に困難を抱えるため、不安を感じやすくなります。信頼できる人間関係があることで、安心感が生まれ、混乱や興奮を防ぐ効果があります。

☆良好な対人関係を築くコツ☆

- ① 傾聴の姿勢
 - ・本人の話を遮らずに聴く
 - ・表情や身振りでも「あなたを受け止めています」と伝える
 - ・話の内容よりも「気持ち」を汲み取る
- ② 共感と受容
 - ・本人の感じていることに寄り添う（否定しない）
 - ・たとえ事実と異なっても、「その人にとっての現実」を大切にする
- ③ 継続的な関わり
 - ・いつも同じ人が関わることで、安心感と信頼感が増す
 - ・日常的な挨拶や声かけ、軽い会話も大切
- ④ 非言語コミュニケーションの活用
 - ・言葉だけでなく、表情、ジェスチャー、触れ合いなども重要
 - ・穏やかな声のトーン、ゆっくりとした話し方が効果的

次回は、はなえくぼ扶桑便りです。どうぞお楽しみに！



グループホームはなえくぼ扶桑
丹羽郡扶桑町大字柏森字辻田398
(0587) 91-0110
グループホームはなえくぼひくみ
犬山市大字五郎丸字郷瀬川17番地1
(0568) 68-8096

グループホームはなえくぼ江南
江南市小松町長者毛西132番地
(0587) 52-3808
はなえくぼのホームページ
www.gh-hanaekubo.com
ブログも時々更新しています